

会 議 録		令和7年12月18日作成	令和11年3月末日廃棄
会議名	京都府舞鶴警察署協議会（令和7年度第3回）		
開催日	令和7年12月17日（水曜日）		
時 間	午後2時から午後3時15分までの間（75分）		
場 所	京都府舞鶴警察署 本庁舎講堂		
出席者	福本会長、伊庭副会長、桑村副会長、加藤委員、前田委員、矢野委員、秋江委員、楠委員、土井委員 （欠席 上野委員、玉木委員）		計9人
	署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、地域課長代理、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長、地域課係長		計11人
諮 問 事 項	1 警察による熊対応について 2 110番通報実施要領について		
会 議 内 容	<p>1 会長挨拶 司会 警務課長 京都府警察署協議会会長会議結果報告</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>3 前回協議会の意見反映結果報告 自転車乗車用ヘルメット普及啓発活動について～交通課長</p> <p>【警察】 前回の警察署協議会において、委員から自転車ヘルメットの着用が低調な中高生等の若い世代に対する効果的な啓発方法について、文字や言葉による広報よりも映像により視覚的に訴えかけた方が有効ではないかとの意見を受けた。</p> <p>これを受けて、管内高校生を「自転車安全利用プロモーター」に委嘱する広報活動を行った際、自転車に乗車する高校生が犠牲となった交通事故遺族（保護者）による交通事故の悲惨さや遺族の悲しみを伝える啓発映像を上映した。生徒から「自分自身のためだけではなく、両親や周りの人のためにもヘルメットをかぶりたい」との意見が出るなど、映像の活用という新たな手法を取り入れたことで、これまでとは質の違う取組となり、生徒らの心に響くものになったという実感があった。</p> <p>今後も映像を活用するなど、様々な角度・視点で広報を進めていく。</p> <p>【委員】 効果があり良かった。継続した広報をお願いします。</p> <p>4 協議 司会 会長</p>		

(1) 諮問事項説明

警察による熊対応について～生活安全課長

【委員】警察が舞鶴市や中丹広域振興局、猟友会と調整会議を行い、熊の対応に関して連携を図っていることを知ることができたが、緊急銃猟制度において舞鶴市の猟友会の各支部に射手として活動できるハンターは何名程いるのか。

【警察】具体的な人数の回答は差し控えるが、十分と言える人数がいないのが現状である。ライフル銃の所持許可には猟銃の経験が10年以上必要なことや舞鶴市から射手を引き受けてもらうための丁寧な説明が必要であり、人員をすぐに確保することができず、今後の課題と考える。

【委員】今年、中舞鶴地区において熊による人的被害が発生したが、その際、警察として具体的にどのように関係機関と連携して活動したのか。

【警察】その件に関しては、警察が事案を認知したのが遅く、事後の広報活動等を実施したのみである。認知が遅れた理由は、当事者自身が申告をちゅうちょしたこと等の理由があるが、認知すれば関係機関と連携、情報共有をして対応し、住民の安全を確保する。

【委員】学校に熊が出没した際には、学校を休校等にするのか。

【警察】休校等の判断は、学校、教育委員会の判断となる。もちろん警察としては、教育委員会を含め、舞鶴市や中丹広域振興局等の関係機関と連携を密にし、子供たちの安全安心を第一に活動する。

今年に入り、管内の小学校から「グラウンドに熊の糞がある」との通報を受けた事案があった。警察官による警戒、マイク広報を実施するとともに小学校、教育委員会と情報共有をして対応したもので、その日は、マラソン大会が予定されていたが最終的には中止という判断を学校側はされている。

【委員】教育委員会としては、熊が出たという目撃情報があるというだけで、直ぐに全ての学校を休校にすることは困難である。それは通常の子供たちの活動が止まってしまうためである。出没等の状況によるが、教員による登下校の見守り強化、警察による見回りを依頼するなどの関係機関と連携して対策を講じ、子供たちの安全確保を第一に考えた上で可能な限り子供たちの活動が止まらないよう対応することになる。

そのためにも、日頃から警察や市の担当部署等と情報共有、連携を図っている。

(2) 諮問事項説明

110番通報実施要領について～地域課長

【委員】通報要領とは少しずれるが、過去に企業で勤務していた際、企業内の揉め事で一度110番通報した経験がある。その際にはすぐに警察官が来てくれて心強かった。引き続き有事の際の迅速な対応をお願いします。

【委員】想定的事案内容が分からない中で、110番通報をして何を説明すれば良いのか不安であったが、必要事項を順番に聞いてくれるため安心して説明することができた。110番通報の経験がなかったため良い機会となった。

【警察】想定のように、受理担当者が必要事項を順次確認していくため、110番

会 議
内 容

通報が必要な事件や事故を目撃等した際には安心してちゅうちょすることなく通報していただくようお願いする。

以上

第3回京都府舞鶴警察署協議会の開催状況

